

実現化に向けた課題

◆①基本構想を踏まえた設計条件の設定

- ・施設のゾーニング計画については運営体制等に大きく影響するため建築計画の段階から市民の意見を取り入れ、市民にとってより利用しやすい(仮称)くろべ市民交流センターの整備を推進していくことが求められます。

◆②管理運営に関する課題

- ・市民の意見を反映させるため民間委員による委員会を設け市民参画型の「施設運営計画」を策定する必要があります。

◆③休館日や開館時間の検討

- ・利用者、利用団体等の活動時間、利用形態、管理運営面でのランニングコスト等に配慮した適切な休館日・開館時間を設定する必要があります。

◆④使用料の検討

- ・市内の類似施設を参考に適正な料金設定にする必要があります。

◆⑤駐車場対策

- ・施設の建設にあっては、より多くの駐車台数が確保できるようピロティの設置等により敷地内に効率よく配置する必要があります。
- ・また、あわせて身障者、乳幼児連れ、駐輪場、公共交通等の対策を講じる必要があります。

◆⑥周辺環境への配慮

- ・施設整備の際の騒音・振動等の影響に配慮するとともに、周辺住民へ説明会など情報提供に努める必要があります。

◆⑦図書館・市民会館・働く婦人の家・三日市公民館の跡地対策

- ・建物については、(仮称)くろべ市民交流センター建設後、計画的に解体していく必要があります。
- ・建物取壊し後の跡地活用については、公共施設の再編に関する基本計画にもとづいた活用を検討していく必要があります。

◆⑧市民参画の推進

- ・広報紙やホームページにおいて、(仮称)くろべ市民交流センター建設に関する情報を積極的に公開し、あらゆる形で市民の意見を反映させる手法等についても検討していく必要があります。

●基本構想から実施設計までのスケジュール

- ・基本構想の内容を踏まえ、設計業務に関する設計者選定手法の検討・設計者の選定・基本設計・実施設計を行います。
- ・また、民間委員による組織を立ち上げ、施設運営計画(図書館等の管理運営検討)の検討を行います。

項目	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降
基本構想(策定委員会)	←→				
基本構想(庁内検討)	←→				
設計者選定手法検討		←→			
設計者の選定		←→			
基本設計・実施設計			←→	←→	
施設運営計画の検討		←→	←→		
建設工事(旧黒部庁舎解体等を含む)					←-----→

●設計業者選定手法

- ・(仮称)くろべ市民交流センターは、可能な限り市民等の意見も取り入れながら、市民がより利用しやすいということを基本に、運営においても効率的に業務を行うことができる環境であることも考慮のうえ、実現を目指す必要があります。
- ・このため設計業者選定の方法としては、実績や技術力のある設計者を選定する「プロポーザル方式」が望ましいと考えられます。

(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想 概要版

平成29年6月 黒部市

○本基本構想は、平成23年3月の「黒部市立図書館建設基本構想」、平成27年8月の「黒部市役所庁舎跡地活用に関する提言書(黒部市役所庁舎跡地活用検討委員会)」、平成29年3月に答申された「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想報告書((仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想策定委員会)」を踏まえ、旧黒部市役所庁舎跡地において図書館を核とする複合施設の建設に関する考え方を示したものです。

■基本コンセプト

『市民が集い学ぶ文化・交流の拠点』

○図書館を核に、子育て支援や未来の黒部市を担う子どもたちの育成、まちの賑わいや活性化を推進するための交流促進や活動団体などへの支援、さらには生涯学習や情報の収集・発信・保存など市民の知的好奇心を満たす多機能を有する市民のための交流拠点づくりを基本コンセプトとします。



■基本方針

①地域の交流・情報センターとして機能性あふれる図書館を核に、市民の文化活動、生涯学習の充実につながる施設

- ・市民のライフスタイルに対応できる情報発信機能
- ・幅広い世代が憩える滞在型の機能
- ・ジオパーク、北方領土、電源開発の歴史など黒部市ならではの資料の収集・発信・保存機能

②図書館と子育て支援が融合する施設

- ・次世代を担う子どもたちの豊かな感性を育む子育て支援機能
- ・子どもの成長を支援し、親子で過ごせる空間づくり

③市民の交流やまちの賑わいを創出し、市民の活動を支える施設

- ・市民ニーズに対応した生涯学習機能
- ・市民団体等が活動しやすい空間づくり
- ・市民が利用しやすい開かれた施設運営

●(仮称)くろべ市民交流センターの基本機能

■①図書館に求められる機能

- ・図書・映像・音楽などの充実により、市民の知的好奇心を満たし、文化力を向上する機能
- ・何度でも気軽に利用できる憩いの場を提供する機能
- ・黒部市の歴史や文化に関する情報収集・保存と、市民にわかりやすく伝える機能
- ・図書館を取り巻く環境変化に柔軟に対応し、時代と共に成長できる機能



■②子育て支援に求められる機能

- ・子どもたちが遊びや学びを通じて、創造性豊かに育つ機能
- ・絵本の読み聞かせなど図書館と連携した子育て機能
- ・子育て世代が、気軽に同世代や他の世代と交流できる機能



■③生涯学習(公民館活動)に求められる機能

- ・子どもからシニアまで公民館活動を通じた生涯学習活動の場を提供・支援する機能



■④生涯学習(女性・青少年活動)に求められる機能

- ・女性、青少年が趣味や興味を活かし、グループ活動や成果発表ができる機能
- ・女性、青少年が気軽に立ち寄り、自由に利用できる機能



■⑤生涯学習(シニア活動)に求められる機能

- ・シニアが自分の趣味や興味を活かし、グループ活動等で生きがいを感じることができる機能
- ・シニアが子どもや青少年等と様々な形で交流できる機能



■⑥市民団体支援に求められる機能

- ・黒部市のまちづくりや市民活動等に組み込む団体などが利活用できる機能

■⑦ビジネス支援に求められる機能

- ・図書館機能と連携したビジネスに関する情報提供を行う機能

必要機能からの規模設定

■ (1) 図書館の規模設定

公立図書館の数値基準（日本図書館協会）、図書館の設置及び運営上の望ましい基準（文部科学省）に基づき、類似規模の先進事例を参考に諸室の規模を設定しました。

図書館延床面積	3,300 m ²	蔵書冊数	250,000 冊	開架冊数	160,000 冊
諸室	主な機能など			設定規模	
①一般図書コーナー	開架図書、中央部低書架、明るい閲覧スペース			800 m ²	
②児童図書コーナー	子ども用低書架、明るく探しやすい閲覧スペース			400 m ²	
③新聞・雑誌コーナー	最新の新聞雑誌の閲覧、ソファ、スツール席			100 m ²	
④郷土資料コーナー	自然文化、ジオパーク、北方領土資料、閲覧席			100 m ²	
⑤PC・AVコーナー	AVブース、パソコン利用カウンター			100 m ²	
⑥読み聞かせコーナー	音漏れの配慮、裸足寝転がれる、ボランティア室			80 m ²	

■ (2) 子育て支援機能の規模設定

現在、黒部ショッピングセンターメルシー2階の子育て支援センターと同規模の機能と乳児のプレイルーム、幼児から小学校低学年までが遊べるキッズコーナーのほか授乳室などのスペースを確保します。

諸室	主な機能など	設定規模
①キッズコーナー	読み聞かせコーナーとの一体可能、室内遊具等	140 m ²
②子育て支援センター	事務所、ボランティア室、プレイルーム	200 m ²

■ (3) 生涯学習・市民活動・ビジネス支援機能の規模設定

諸室	主な機能など	設定規模
①会議室・研修室	60 m ² の小会議室（4室）、100 m ² の中会議室（5室）移動間仕切	740 m ²
②多目的ホール	移動間仕切で3部屋に分割、講演会、発表会、ダンスサークル	300 m ²
③調理室	調理台（7台）、食育、郷土料理継承、離乳食等	100 m ²
④防音スタジオ	音楽練習、音読収録、対面朗読	40 m ²

施設計画・事業手法

■ ①施設整備方針

・黒部らしさと環境に配慮した施設として、バリアフリーなど安全性・快適性・機能性を考慮するとともに、市役所やコラーレなど他公共施設との連携を図ります。

■ ②施設規模

・図書館として 3,300 m²が必要であり、庁舎跡の敷地面積（4,100 m²）などから、施設全体の大きさを 1,600 m²×4階建ての延床面積 6,400 m²と設定します（地下なし）。

・（仮称）くろべ市民交流センターの概算工事費（目安）は 27 億円～28 億円と想定します

■ ③フロア毎の機能分担

・複合施設として利用者の利便性を考慮しフロア毎に機能分担するものとします。

■ ④駐車場の確保

・同一敷地内での駐車場の確保が求められており、4,100 m²の敷地面積の中で建築物の配置や形態の工夫などにより 100 台程度の確保に努めます。

■ ⑤事業手法の検討

・事業手法について、PFI 等民間活用方式を含めての検討の結果、（仮称）くろべ市民交流センターの建設・維持管理・運営にあたっては、設計段階での柔軟な計画の見直し、市民意向の反映と事業スケジュールの面で優位である従来方式とします。

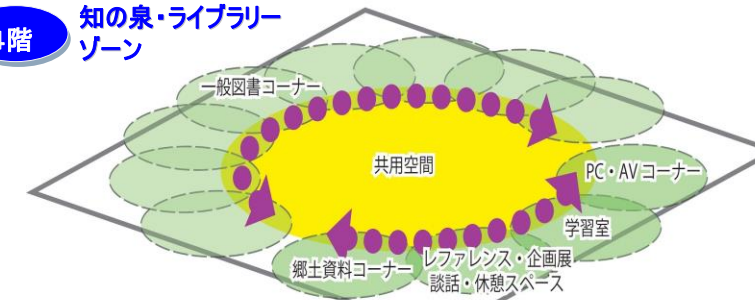
・管理運営についてはサービス水準の向上を図るため、図書館も含め直営を基本としながら指定管理制度や管理委託等の導入について今後検討します。

ゾーニング計画

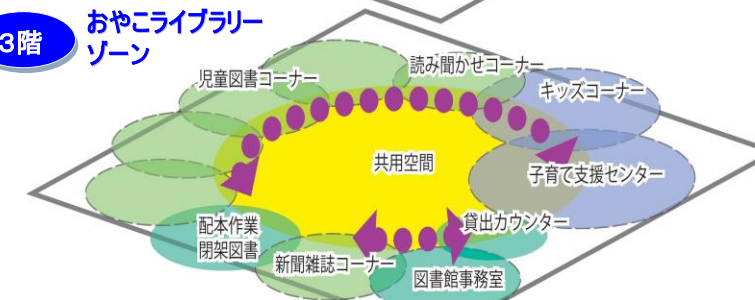
コア施設となる図書館の面積規模の確保、「賑わい空間」と「静かな空間」との調和から、図書館を3・4階に、市民活動・生涯学習機能を1・2階に配置します。

階	主な機能	配置理由
4	図書館機能	・最も利用者の多い図書館を3、4階に配置することで、生涯学習・子育て支援等の利用促進、他の活動の関心度の向上を図り、新たな交流が生まれることが期待できるとともに、館内の静寂性や眺望景観が確保できます。
3	図書館機能 子育て支援機能	・図書館機能の児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室と子育て支援機能を配置し、親子連れが利用しやすいフロアとします。
2	生涯学習、市民活動 ビジネス支援機能	・生涯学習、市民活動、ビジネス支援を目的とした会議室・研修室を配置し、利用者の多様なニーズに対応でき様々な交流が生まれるフロアとします。
1	生涯学習機能 総合受付機能	・高齢者の利用が多いと想定される生涯学習機能のほか、展示ギャラリーや多目的ホール等により市民が気軽に立ち寄れる機能を1階に配置し、駐車場と一体となったイベント等の開催により、まちなかの賑わいを創出します。

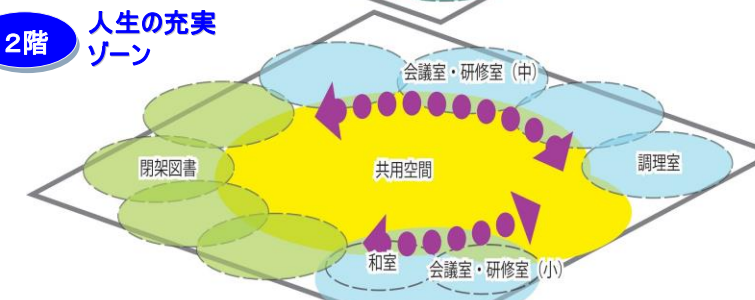
4階 知の泉・ライブラリーゾーン



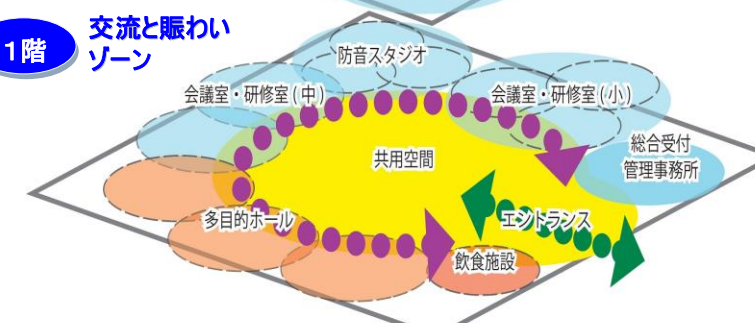
3階 およこライブラリーゾーン



2階 人生の充実ゾーン



1階 交流と賑わいゾーン



■フロア毎の機能別面積の目安■

階	諸室	1室当り面積	室数	合計面積
4階	一般図書コーナー	800	1	800
	PC、AVコーナー	100	1	100
	郷土資料コーナー	100	1	100
	談話・休憩スペース	50	1	50
	学習室	100	1	100
	レファレンス・企画展	50	1	50
	◆共用空間	400	1	400
小計				1,600
3階	児童図書コーナー	400	1	400
	読み聞かせコーナー	80	1	80
	キッズコーナー	140	1	140
	子育て支援センター	200	1	200
	新聞雑誌コーナー	100	1	100
	貸出カウンター等	60	1	60
	図書館事務所	100	1	100
配本作業・開架図書	120	1	120	
◆共用空間	400	1	400	
小計				1,600
2階	和室	60	1	60
	調理室	100	1	100
	会議室・研修室(小)	60	1	60
	会議室・研修室(中)	100	3	300
	閉架図書	440	1	440
◆共用空間	640	1	640	
小計				1,600
1階	多目的ホール	300	1	300
	会議室・研修室(小)	60	3	180
	会議室・研修室(中)	100	2	200
	防音スタジオ	40	3	120
	飲食施設	60	1	60
	総合受付・管理事務所	100	1	100
	◆共用空間	640	1	640
小計				1,600
				6,400